

少年の非行や被害のない夏休みに



夏休みを控えたこの時期、気の緩みや解放感による非行・被害の増加が懸念されます。少年の非行・被害防止のため、家庭や地域で子ども達を見守っていきましょう。

家庭では・・・



○子どものインターネット利用に関心を

インターネットは便利で楽しい反面、使い方を誤ると加害者や被害者になってしまう場合があります。注意が必要です。

スマートフォン等の通信機器にはフィルタリングを適切に設定するとともに、親子で使用する際のルールを決め、子ども達の利用の様子を見守り、ルール違反があった際には、見過ごさず注意しましょう。

ルールづくりのヒント ～ 家族で話し合い、「わが家のルール」をつくきましょう！

- ① 「いつまで」「どれくらい」等、子どもにわかりやすいものにしましょう。
例) スマホ(ゲーム機)を使っていいのは、〇時から〇時まで。
〇時になったら、電源を切り、【具体的な場所】に戻す。
- ② 作ったルールを守れるか、お試し期間を設け、守れたらほめてあげましょう。
- ③ 「守れなかったら、3日間保護者がゲーム機を預かる」などのペナルティを設け、ルールを守る習慣をつけさせましょう。
- ④ 子どもの成長に応じて段階的にルールを見直しましょう。



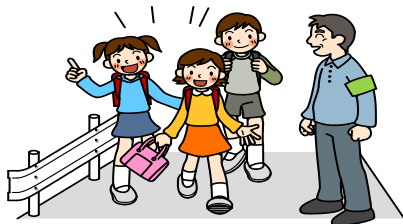
○子どもの外出、帰宅時間を把握

子どもが外出するときは、「行き先、誰と、何を、帰る時間」を確認しましょう。

深夜はいかいは、犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性が高く、同様に夜遊びを繰り返しているグループに引き入れられるなど、他の不良行為を誘発するおそれもあります。

夜遅く帰宅した場合は、「たかが夜遊び」と思わず、毅然とした態度で向き合しましょう。

地域では・・・



○子ども達にひと声を

地域の大人の目が、子ども達を犯罪から守るとともに、子どもの健全育成や非行防止につながります。

「大人が見守っていること」を子ども達に伝えましょう。

深夜に出歩いたり、喫煙、飲酒、グループで集まって騒ぐなどの行為をしている子ども達をみかけたら、すぐに警察へ通報をお願いします。

薬物乱用防止

○若年層の大麻乱用に危機感を！

全国的に、若年層による大麻乱用が拡大しています。

インターネット上には、「大麻は、身体に害はない」等の誤った情報が散見されます。

また、若い人は特に、友人・知人からの誘いを断れない傾向があります。

手を出してしまうと、最終的には止められなくなり、悪い仲間からも抜けられなくなります。

かつてのような、植物片の形状ばかりではなく、食品やリキッド状に加工された大麻があり、また、吸引器具が市販されている現状があります。

社会全体で、「大麻を含む違法薬物は許さない」毅然とした意識をもちましょう。

